

令和7年度地域養豚生産衛生向上対策事業に係る検査結果

1. 事業の概要

(1) 対象疾病

- ・豚繁殖・呼吸障害症候群(PPRS)
- ・豚サーコウイルス2型(PCV2)
- ・豚胸膜肺炎(APP)
- ・マイコプラズマ(MPS)
- ・豚インフルエンザ(IF)
　家畜防疫員が豚インフルエンザウイルスによる生産性阻害を疑う1農場
- ・豚増殖性腸炎(PPE)
　家畜防疫員がローソニア菌による著しい生産性阻害を疑う3農場

(2) 対象地域

県下全域

(3) 事業対象戸数

21戸(うち肥育のみ1戸)

(県全農家 40戸(うち肥育のみ17戸) R 6. 2. 1現在)

(4) 実施体制

推進会議メンバー

長野県園芸畜産課

長野県佐久家畜保健衛生所、東信家畜畜産物衛生指導協会

長野県伊那家畜保健衛生所、伊那・諏訪家畜畜産物衛生指導協会

長野県飯田家畜保健衛生所・飯伊家畜畜産物衛生指導協会

長野県松本家畜保健衛生所・中信家畜畜産物衛生指導協会

長野県長野家畜保健衛生所・北信家畜畜産物衛生指導協会

全国農業協同組合連合会長野県本部

長野県養豚協会

一般社団法人長野県畜産会、長野県畜産会指定獣医師

推進体制(別添参照)

・体制: R7 養豚事業体系(出典: 長野県園芸畜産課 防疫・衛生係)

・広報: 長野県畜産広報第720号(地域養豚生産衛生向上対策事業)

(出典: 長野県園芸畜産課 防疫・衛生係)

2. 実施状況

(1) 地域対策推進会議実績数及びその概要

ア 第1回地域対策推進会議（令和7年6月2日 長野市及びZoom）

- ・参加者 園芸畜産課、各家畜保健衛生所、各衛生指導協会
県養豚協会会員、県畜産会、指定獣医師

- ・助言者 (有)あかばね動物クリニック 伊藤 貢 氏
エス・エム・シー株式会社 小池 郁子 氏

- ・内容

令和7年度事業の推進方法について

イ 第2回地域対策推進会議（令和8年1月30日 長野市及びZoom）

- ・参加者 園芸畜産課、各家畜保健衛生所、各衛生指導協会
県養豚協会会員・賛助会員、県畜産会、指定獣医師

- ・助言者 (有)あかばね動物クリニック 伊藤 貢 氏
(有)あかばね動物クリニック 水上 佳大 氏
エス・エム・シー株式会社 小池 郁子 氏
公益社団法人中央畜産会 林 政彦 氏

- ・内容

- (ア) 地域養豚生産衛生向上対策事業に係る検査結果に基づく衛生対策
(イ) ベンチマーキングを活用した生産性向上とアフリカ豚熱の最新情報

ウ 第3回地域対策推進会議（令和8年2月3日 長野市及びZoom）

- ・参加者 園芸畜産課、各家畜保健衛生所、各衛生指導協会

- ・内容

- (ア) 令和7年度事業のとりまとめについて
(イ) 令和8年度事業計画について

(2) 検査の種類と件数 (令和7年12月20日現在)

	検査項目	検体数	陽性数	陽性率	備 考
1	抗体検査	2,375	1,341	56.46%	PRRS 220/581 PCV2 533/586 MPS 251/586 APP 337/586 IF 0/36
2	遺伝子検査	1,123	114	10.15%	PRRS 72/561 PCV2 28/531 PPE 14/31
3	塩基配列解析検査	7			PSSR 5 PCV2 2

(後期分(12月20日以降)は現在検査中のため含まれていない)

(参考)

○巡回指導 18農場 67回

○着地検査

抗体：1農場 7検体(陽性 0検体)

○モニタリング

抗体：18農場 2,191検体(陽性 1,251検体)

遺伝子：18農場 1,018検体(陽性 91検体)

○強化モニタリング

抗体：1農場 36検体(陽性 0検体)

塩基配列解析検査：5農場 7検体

遺伝子検査：3農場 31検体(陽性 14検体)

○清浄化推進検査

抗体：1農場 120検体(陽性 90検体)

遺伝子：1農場 60検体(陽性 9検体)

3. 目標の達成状況 (出荷頭数/母豚) *JRAに報告する事業達成目標

母豚1頭当たりの出荷頭数 (出荷頭数/母豚)

$$R7 (18.09 \text{頭}) / R6 (19.89 \text{頭}) \times 100 = 90.95$$

4. 本事業の実施を通じた成果、取組事例等 (波及的な効果も含む)

新設された農場だけでなく古い畜舎でもグループシステムを取り入れている農場の衛生状況が高く維持されていることから、ツーサイトシステムやグループシステム等オールアウトと消毒の徹底による慢性疾病のコントロールを目指す農場が増えると思われる。

5. 地域目標の設定・達成状況等 別紙

(別紙)

令和 8 年 1 月 15 日
一般社団法人長野県畜産会

地域目標の設定・達成状況等

1. 目標の概要

(1) 基準年度（例：令和 6 年度）　目標年度（例：令和 11 年度）

ア　離乳頭数／出産頭数×100

基準年度：83.40%

イ　出荷頭数／離乳頭数×100

基準年度：66.36%

ウ　枝肉重量／出荷日齢

基準年度：0.40 kg

*令和 7 年度については来年度巡回指導時に聞き取り予定

算出は当事業参加農場のうち、一貫農場で出産頭数、離乳頭数、出荷頭数、枝肉重量の記録がある農場（15 戸）を対象にしている。

(2) 各地域が目指す方向、基本方針

農場の衛生状況を把握し、使用するワクチンや抗菌性物質、消毒剤の種類や使用適期を見直し、経費削減、耐性菌の発現抑制、生産性の向上を目指す。

(3) 達成度を定量的に判断するための指標

出荷日齢及び枝肉重量

2. 目標達成に向けた取組、課題、今後の対応等

継続的な慢性疾病検査と検査結果に基づく養豚専門獣医師等の助言による衛生管理の改善。

2.慢性疾病衛生対策実施事業				
対象疾病名	R7			
PRRS		計		
(1) 地域対策推進事業	2	2	←地域推進会議等の開	
(2) 地域対策実施事業				
		検査件数	うち陽性件数	
		R7	計	R7
ア 巡回指導	37	37		
イ 着地検査	1	0		0
(ア) 抗体検査	7	0		
(イ) 遺伝子検査	7	0		
ウ モニタリング検査	30	0		0
(ア) 抗体検査	544	205		
(イ) 遺伝子検査	524	67		
エ 強化モニタリング検査		0		0
(ア) 抗体検査				
(イ) 遺伝子検査(解析)	5	5		
オ 清浄化推進検査	5	0		0
(ア) 抗体検査	30	15		
(イ) 遺伝子検査	30	5		
上記遺伝子検査(遺伝子解析)で判明したPRRSウイルス株				
クラスターII 2農場 クラスターIII 2農場				
未分類 1農場				

2.慢性疾病衛生対策実施事業				
対象疾病名	R7			
PCV2		計		
(1) 地域対策推進事業	2	2	←地域推進会議等の開	
(2) 地域対策実施事業				
		検査件数	うち陽性件数	
		R7	計	R7
ア 巡回指導	37	37		
イ 着地検査	1	0		0
(ア) 抗体検査	7	0		
(イ) 遺伝子検査	7	0		
ウ モニタリング検査	30	0		0
(ア) 抗体検査	549	503		
(イ) 遺伝子検査	494	24		
エ 強化モニタリング検査		0		0
(ア) 抗体検査				
(イ) 遺伝子検査(解析)	2	2		
オ 清浄化推進検査	5	0		0
(ア) 抗体検査	30	30		
(イ) 遺伝子検査	30	4		
上記遺伝子検査(遺伝子解析)で判明したPCV2ウイルス株				
遺伝子型a 1戸、遺伝子型d 1戸				

2.慢性疾病衛生対策実施事業				
対象疾病名	R7			
APP		計		
(1) 地域対策推進事業	2	2	←地域推進会議等の開	
(2) 地域対策実施事業				
		検査件数	うち陽性件数	
		R7	計	R7
ア 巡回指導	37	37		
イ 着地検査	1	0		0
(ア) 抗体検査	7	0		
(イ) 遺伝子検査	7	0		
ウ モニタリング検査	30	0		0
(ア) 抗体検査	549	312		
(イ) 遺伝子検査				
エ 強化モニタリング検査		0		0
(ア) 抗体検査				
(イ) 遺伝子検査(解析)	0	0		
オ 清浄化推進検査	5	0		0
(ア) 抗体検査	30	25		
(イ) 遺伝子検査				

2.慢性疾病衛生対策実施事業				
対象疾病名	R7			
M.hyo		計		
(1) 地域対策推進事業	2	2	←地域推進会議等の開	
(2) 地域対策実施事業				
		検査件数	うち陽性件数	
		R7	計	R7
ア 巡回指導	37	37		
イ 着地検査	1	0		0
(ア) 抗体検査	7	0		
(イ) 遺伝子検査	7	0		
ウ モニタリング検査	30	0		0
(ア) 抗体検査	549	231		
(イ) 遺伝子検査				
エ 強化モニタリング検査		0		0
(ア) 抗体検査				
(イ) 遺伝子検査(解析)	0	0		
オ 清浄化推進検査	5	0		0
(ア) 抗体検査	30	20		
(イ) 遺伝子検査				